

提 案 概 要

実施期日	7月31日(金)
部会名	中学校 保健体育部会

1 提案テーマ 『生徒一人ひとりが運動の楽しさや喜びを味わえる授業づくり』
～ベースボール型の簡易ゲームをきっかけとして～

2 単元 球技 ベースボール型

3 学年 第1学年・第2学年

4 平成27・28年度神奈川県中学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

① 学習目標と学習内容をより明確にした系統性のある指導と評価の工夫

5 学習指導要領との関連

第2章 第7節 保健体育 第2 各分野の目標及び内容 [体育分野 第1学年及び第2学年]

2 内容 E 球技

(1) ウ ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開すること。

6 実践に向けての課題意識

研究主題にある「生徒一人ひとりが課題をもって自ら運動を行い、その楽しさや喜びを味わうことができるような学習を進める」ということを受け、ベースボール型の種目を経験していない生徒にとっても、「楽しさや喜びを味わうことができる授業づくり」に取り組みたいと考えた。

生徒に行った事前アンケートによると、「ルールが難しそう」や「ボールを捕球するのが怖い」という意見があり、ベースボール型の種目の経験がない生徒を中心に苦手意識をもっている実態がある。また、授業者側からすると、捕る・投げるだけではない守備の仕方として、バックアップなどの動きを入れることで運動量を確保する必要性を感じていた。

7 実践の概要

研究実施校では少年野球があり、ベースボール型に対して楽しみにしている生徒がいる。また、小学校でテーパーボールを経験している生徒もいる。一方、テレビなどでも野球を見ることなく、ベースボール型のルールを全く知らない生徒もいる。

そこで、本研究では、ルールが複雑なベースボール型の簡易ゲームをする中で、ルールの理解と打つ・走る・捕る・投げるなどの技術の習得が段階的にできる授業づくりに取り組んだ。また学習カードやゲームの中で子どもの変容を見取っていき、評価を行った。

8 成果と課題

事前アンケートではソフトボールに対して苦手意識をもっていた意見が多かった。しかし、段階的なルール設定をした簡易ゲームを行ったことにより、今まで全くベースボール型にふれたことがない生徒も、意欲的に授業に参加できた。事後アンケートでは、「ルールがわかりやすく楽しかった」という意見が多く挙げられた。

ルールを簡素化し、変更することで、「どこまで投げる」「どこまで走る」「どこにカバーへ行く」などのことをゲームを通して理解することができた。また、運動量の確保と安全面や恐怖心の払拭にもつながった。このことが、経験のある生徒にとっては新しい取組となると共に、経験の少ない生徒にとっては取組へのハードルを下げることとなった。これにより、授業に参加した多くの生徒が意欲的な活動につながり、とても生き生きとした表情で授業に取り組んでいた。

今後の課題としては、教師が変則ルールそれぞれの目的を明確に伝えることで、習得すべき内容を自己評価できるように進める必要を感じた。また、「作戦タイム」を設定することで、生徒自らが課題を発見し、ポジションを変更したり動きを確認するなど、チーム内の交流を通してゲーム性の理解と思考力・判断力を高める授業づくりの必要性を感じた。

9 予想される協議の柱

- ・ベースボール型の授業をする中で、自分が感じている課題・改善策
- ・他の球技での簡易ゲームの提案